

房日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

日刊 第20050号

(昭和27年8月23日 第3種郵便物認可)【月曜休刊】

4月17日 水曜日

平成31年(2019年) 旧暦3月13日(先負)

天気	雲	晴	南西の風のち南東の風
	降水 (鏡子地方気象台)	06-12 12-18 18-24 確率 0 10 10	

潮位	満潮 03時21分/15時10分	中潮
	干潮 09時20分/21時27分	(布良)

10人が介護職を目指す

安房初

求職者支援訓練を開講

国の制度に基づく求職者支援訓練「介護職員初

任者研修養成科」が15日、

安房では初めて開催。20

歳60代の10人が、7月ま

での3か月間受講し、介

護施設などへの就職を目指す。

講師は、介護現場での実習、面接

指導などの就職支援も受けられ

られる。

15日に行われた開講式には、受講する10人が出

席。運営する浩浩館山・

南房総・鴨川介護福祉力

レッジ(本社・千葉市)の徳永泰成社長が「介護

の仕事の楽しさを学んで

もらい、資格を取って就職してほしい」とあいさ

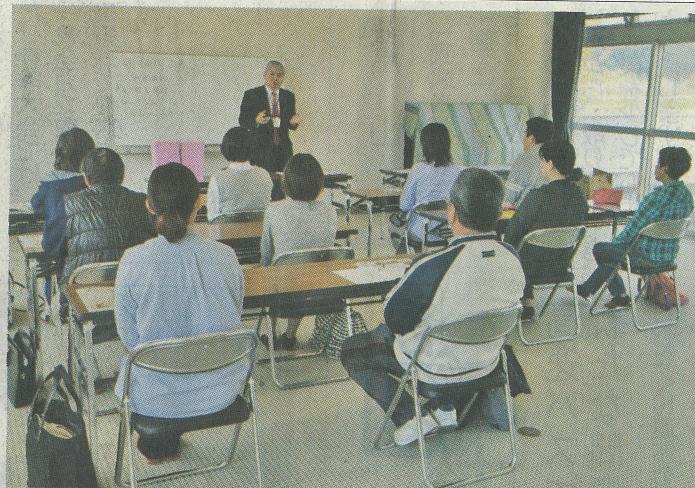
つした。

話している。

介護職員初任者研修は、介護職の入り口となる資格。訓練では、老化や認知症の理解といった、介護現場で働くために必要な基礎知識を身につける学科の他、実技や介護現場での実習、面接指導などの就職支援も受けられる。

入校した佐藤勝三さん(61)は「まだまだ働ける年齢なので、資格を取得し、第二の人生として介護という新たな分野にチャレンジしたい」と意気込んでいた。受講者は3か月間の課程修了後、施設や訪問の介護職員として活躍が期待される。

浩浩館山によると、管内の介護関係の有効求人倍率は4・31倍(2月末時点)と人手不足状態が続いている。徳永社長は「実習などを通して自分に合う施設を見つけてもらい、離職せず働き続けてほしい」と話している。



介護職を目指す10人が出席した開講式=南房総

南房総